

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会平成21年度いのちのメッセージ発信事業

「いのちのメッセージ」

黒部市立三日市小学校 6学年児童、保護者
平成21年7月10日実施

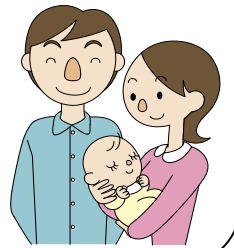
【いのちの先生】

水島 香苗 先生

・あわの産婦人科助産師

【授業の概要】

- 1 「いのち」という言葉からイメージすることや思うことについての発表
- 2 「いのち」に関する講話（水島香苗先生）
 - ①助産師の仕事
 - ②いのち誕生のしくみ
 - ③胎児の成長の様子
 - ④出産時の様子
 - ⑤いのちのたいせつさ
 - ⑥少年兵の話
 - ⑦家族の愛
 - ⑧赤ちゃんの母親の一言
 - ⑨スライド（赤ちゃんとお母さん・家族の様子）

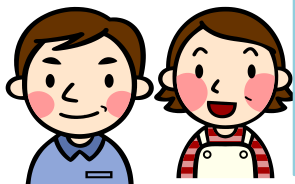


- 私たちが生まれてきたのは、奇跡なのだと思いました。人が生まれてくることで、いろいろな人に幸せをもたらし、とても素晴らしいことだと感じました。同じ人間でもいのちは絶対同じものではないので、一人一人の個性をしっかりと出して、自分に自信をもち、堂々と生きていかなければいけないと思いました。これからはいのちを大切にしたいです。親に感謝し、親を頼らず一人でしっかり生きていけるようになりたいです。
- 今日、赤ちゃんとお母さんが来てくれました。私もあんなに小さかったんだと思いました。そして、自分が子孫を残す役が回ってきたんだと感じました。赤ちゃんをだっこしてみました。とても温かく気持ちがよくなりました。そして、親子でいのちについて話してみたいと思いました。
- 自分はいろいろな人とつながっているということが印象に残りました。自分が生まれるために、20代前にさかのぼると約200万人もの人のいのちのつながりが続いてきたことを教わりました。いのちのつながりを自分の代で止めてはだめだなと感じました。

子どもたちの感想



保護者の声



- 出産したときのことを思い出し、子どもが愛おしく感じられました。人は、いのちを受け継いでいくということを改めて考えさせられ、大切にしなければと思いました。子どもとふれあう時間をとるようにし、もっとふれあっていきたいと思いました。
- 私たちも子どもたちも自分の意志で生まれてきて、生きていることに意味があるという内容のお話にとっても感動しました。